


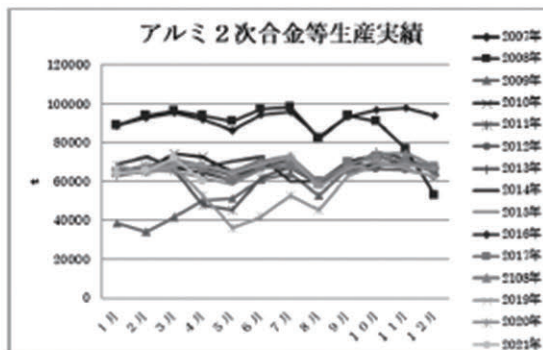
銅・アルミレポート

橋本アルミ株式会社取締役
橋本 健一郎



6月のアルミ概況及び7月の見通し (3)

【アルミニウム2次合金等生産実績】



■国内概況まとめ

【自動車生産】

生産動態統計によると5月の自動車生産台数は前年比+64.1%の47万2,000台。

【自動車販売】

日本自動車販売協会連合会によると6月の自動車販売台数(軽除く)は前年比+9.2%の23万4,697台。

内訳は、乗用車が+8.8%、貨物が+12.2%、バスは-11.4%。

【住宅着工戸数】

5月の新設住宅着工は、持家、貸家及び分譲住宅が増加したため、全体で前年同月比9.9%の増加となった。また、季節調整済年率換算値では前月比0.9%の減少となった。

○新設住宅着工戸数は70,178戸。前年同月比9.9%増、3か月連続の増加。

○新設住宅着工床面積は5,852千㎡。前年同月比12.6%増、2か月連続の増加。

○季節調整済年率換算値では875千戸。前月比0.9%減、5か月ぶりの減少。

【アルミ圧延・押出品生産数】

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前年比が+22.8%の15万5,062tで5か月連続のプラス。

板類は10万2,155tで+21.8%、5か月連続プラス。

押出類は5万2,907tで+24.8%、3ヶ月連続プラス。

【アルミニウム2次合金 同合金地金等生産実績】

前年比は+66.8%の6万5tで7か月連続プラス。

出荷は+67.4%の6万407tで7か月連続プラス。

【輸出】

アルミ新地金が前年比+35.9%の130t、2次合金が+6.9%の1,247t、スクラップが+41.4%の2万4,528t、アルミ缶が-14.6%で6,882t。

【輸入】

アルミ新地金が前年比+4.2%の11万6,545t、2次合金が+29.7%の9万2,056t、スクラップが+67%の298t、合金スクラップが+1.3%の3,519t。

【見通し】

【自動車】

4月の自動車生産が+64.1%。6月国内販売台数が前年比+9.2%。生産急増は半導体不足の影響はないとの認識、販売も幅増。今後生産、販売共に増加していくか注視。

【アルミ圧延・押出品生産数】

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前年比が+22.8%の15万5,062tで5か月連続プラス。今後プラスが続くかの動向に注視。

【アルミニウム2次合金 同合金地金等生産実績】

前年比は+66.8%の6万5tで7か月連続プラス。出荷は+67.4%の6万407tで7か月連続プラス。今後もプラスが続くか注視。

・アルミ輸出は相場の急騰や外需が比較的好調なことを受けてアルミ缶以外大幅増。

・アルミ輸入は国内自動車販売の好調から大幅増。

【スクラップ景況予想】

流通(一次問屋)在庫はLME価格が2,400~2,500ドル台で高止まりしたことより玉不足は続く。

要面に関しては前月に続き販売が堅調な事による材料不足や国際相場の高騰からの輸入玉の不足からメーカー在庫は気薄。

【LME・為替予想】

今月は①米経済、景気対策と②中国の景気動向、原料価格抑制策に左右される。

①に関しては、バイデン米政権は24日、米国で超党派で1.2兆ドル規模のインフラ投資が合意されたことから米景気は回復傾向が続くのではないかと。今回の超党派によるインフラ投資法案の合意は、共和党が米国雇用計画のなかで賛同できる項目であるインフラ投資(ハードインフラ)を中心にまとめた内容。

②に関しては、16日に発表されていた5月の中国工業生産の伸びが4月の9.8%から8.8%に鈍化したうえ、27日には利潤の伸びが同じく57%から36.4%に大幅に減速したこと、中国政府による原材料高騰への取り締まり強化策実施したが効果があまりなかった事などがあつた。

これらを踏まえた7月のアルミ価格は2,400~2,600ドル(セツル)との予想。

ドル円値は109円~111円(TTM)台を予測。

スクラップ購買価格に関しては据え置きから+5円程度と予測している。

(「6月のアルミ概況及び7月の見通し」終わり)